

# 第5次京都府食育推進計画の策定について（中間案）

令和7年11月  
農林水産部

食育基本法に基づき令和3年3月に策定した「第4次京都府食育推進計画」の計画期間が、令和7年度末をもって満了することから、次期計画を下記のとおり策定することとし、下記のとおり12月府議会定例会で中間案を考えております。

記

## 1 中間案の概要

### （1）第4次計画の取組の成果・課題

- 「きょうと食いく先生」による体験型授業の実施数増加や、オンライン講座やSNSなど、ICTを活用した積極的な情報発信により、食育の裾野を拡大
- 一方で、朝食摂取やバランスの良い食事の摂取については、特に20・30代の若い世代で低下しており、改善が必要
- 食料の安定供給のリスクが高まる中、農林水産業の担い手確保や、合理的な価格形成の重要性について理解を深める食育が必要

### （2）第5次計画の基本方針

- 生活の自立が始まる若年層に対し、科学的根拠に基づく食生活の重要性を伝え、心身の健康を実感できる取組を実施するとともに、家庭・学校・地域・職場など、あらゆる場において、ライフステージに応じた食育を推進。
- 広く府民に対し、農林水産業の体験や生産者との交流の機会を提供するなど、農林水産業の理解促進や次代を担う人材の確保につながる取組を推進。

### （3）第5次計画における施策の展開＜数値目標は裏面＞

#### ア 多様な主体による食育の推進

##### （ア）生活自立期を中心とした大人の食育の強化

- ・「きょうと食育ネットワーク」に新たに大学や企業に参画いただき、情報交換や協力の仕組みを拡充するとともに、「きょうと食の安心・安全ヤングソポーター」を更に養成するなど、若者世代への食育を進める体制を強化
- ・大学や企業と連携し、食堂で朝食摂取やバランスの良い食生活の重要性を科学的根拠に基づいた情報として伝えるなど、食生活改善の実践に導く取組を推進

##### （イ）家庭における食育の推進

- ・保護者から子へ、食に関する知識・感謝・文化が自然に受け継がれ、世代を超えて食の大切さをつなぐ取組の推進
- ・京都府産農林水産物や郷土料理などを買う、食べることで食への関心と理解の促進

##### （ウ）学校、保育所、幼稚園等における食育の推進

- ・食育人材の育成、研修や地域・学校での体験学習など、生産者、学校関係者、保護者が連携して成長・発達段階に応じた食育を進めます。
- ・「食材の理解」「食文化の体験」「命への感謝」「栄養バランスの学習」などを学ぶことができる給食を通じた食育の推進

##### （エ）地域における食育の推進

- ・地域の伝統的な料理、季節の行事などを活用しながら、府民が地元に親しめる食育活動の推進
- ・健康づくりを応援する外食店舗や、調理困難者向け配食サービスなど、地域で暮らす人々が健康に暮らすための取組を推進

## イ 持続可能な農林水産業・食品産業を支える食育の強化

- ・農林水産業や食品産業の体験を通じて、産業を支える人々の想いや魅力に触れ、生産現場と食卓のつながりを理解することで、農林水産業への理解醸成と、食への感謝や食生活を見つめ直す契機となる取組を推進するとともに、将来の仕事として選択してもらえる取組を推進
- ・地域で受け継がれてきた食文化の継承や食品ロスの削減などを通じて、食と農を大切にする心を育み、持続可能な食の実践を促進する取組の推進
- ・SNSやYouTubeチャンネルなどのICTを活用し、食に関する正しい知識や魅力を広く伝える情報発信の強化

### (3) 食育の推進に向けた数値目標

施策体系	項目 (新:新規、継:継続、拡:拡充)		基準年 R6年度	目標値 R12年度	担当課
多様な主体による食育の推進	強化大人を中心とした立派な期の食育を	1 (新)	社員、学生に対して食堂等を活用した食育活動を行う大学・企業数(団体)	0	農林水産部 農政課
		2 (新)	学生等によるきょうと食の安心・安全ヤングセンターの養成(延べ登録者数(人))	206	農林水産部 農政課
	家庭における食育の推進	3 (継)	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べる府民の割合(%)	56.4	農林水産部 農政課
		4 (継)	朝食を毎日食べる府内小学生の割合(6年生)(%)	83.3	教育庁 学校教育課
		5 (拡)	朝食を毎日食べる府内中学生の割合(3年生)(%)	78.1	農林水産部 農政課
	学校における等に推進	6 (継)	きょうと食いく先生の授業数(授業/年)	580	教育庁 保健体育課
		7 (継)	学校給食における地場産物を使用する割合(金額ベース、%)	17.4	農林水産部 農政課
	地域における食育の推進	8 (継)	食育推進計画を作成・実施している市町村の割合(%)	80.8	健康福祉部 健康対策課
		9 (新)	きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店数(店舗)	808	農林水産部 関係課
	食品農業持続可能な産業を支える	10 (新)	農林漁業体験者数(延べ体験者数)	—	農林水産部 関係課
		11 (拡)	京都の食に対する理解促進に向けた講演会等の参加者数(人)	—	農林水産部 関係課
			食に関する正しい知識や食の魅力をICTを活用して発信する回数(回)	335	農林水産部 関係課
項目・数値は現在検討中(11月中旬決定予定)					

## 2 今後のスケジュール

- ・令和7年12月 12月府議会定例会農商工労働常任委員会(中間案報告)
- ・令和8年1月 パブリックコメントの実施
- ・令和8年2月 2月府議会定例会農商工労働常任委員会(最終案報告)